

# 改革調査で全国9位

タウンニュース

2012.11.29

## 情報公開など評価

全国の都道府県および市区町村の議会を対象に行われた議会改革度調査(早稲田大学マニフェスト研究所主催)はこのほど、1回目の調査報告を発表し、町田市は全国で9位に認定された。

ランキングベスト10		
1位	三重県	三重県議会
2位	鳥取県	鳥取県議会
3位	福島県	会津若松市議会
4位	岐阜県	高山市議会
5位	宮城県	宮城県議会
6位	千葉県	流山市議会
7位	新潟県	上越市議会
8位	京都府	亀山市議会
9位	東京都	町田市議会
10位	三重県	伊賀市議会

この調査は、早稲田大学マニフェスト研究所が、全国1789議会を対象に調査票を送り、そのうち回答があった1371議会について情報公開、住民参加、議会機能強化のカテゴリーごとに分析したもの。報告書によると町田市議会は、情報公開が6位、住民参加は5位、機能強化は100位で、総合得点は41535で全国1371議会のうち9位にランキングされた。

情報公開のカテゴリーでは、本会議や委員会の議事録・動画・資料、また議会自身の交際費・政務調査費・視察結果などをどれだけ住民に対して公開しているかを重点に調査が行われた。また住民参加のカテゴリーでは、議会傍聴のしやすさや議会報告などの実施、住民からの意見受付などを重視している。100位だった議会機能の強化では、議会基本条例の制定などによる議会本来の権限・

能力を発揮するための機能強化状況を調査した。

町田市議会では、新庁舎移転に伴い電子表決や委員会でのインターネット中継が導入された。情報公開のカテゴリーではこの取り組みが評価されている。電子表決では、議員個人の賛否が明確に表示され、その結果は市議会ホームページ、議会だよりで住民が分かるようになっている。

住民参加のカテゴリーでは、委員会での請願者による意見陳述が取り入れたことにより、住民が気持ちよく考えをより議会に訴えることができるようになった。

田中修一市議会議長は「議会のこれまでの取り組みを評価していただき、感謝しています。今後も市民の皆さんに開かれた議会にするため、議員全員で取り組んでいきたい」と話している。